

2 目標達成計画

事業所名：グループホームなかがわ

作成日：平成23年 6月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。

また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	現在ある理念が、「基本理念」、「運営方針」、「ケア目標」と三つに設定されいずれも長文なため職員一人一人が常に確認・共有できる状況ではなく、そのためケアの場面でも十分発揮できていない。	現在ある理念をもとに、職員一人一人が念頭に置きやすいような、簡単明瞭な理念を話し合い、確認・共有し常にケアの場で発揮できるような取り組みを行う。	職員会議で、現在の理念を再確認した上で、各職員の考えを引き出し、それぞれの考えをお互いに共有した後に、職員会議で、理念を決定する。	6 か月
2	35	開所来、地元消防団には協力をいただいているが、先の東日本大震災後に、災害時における近隣や消防団との協力体制が重要であると考え、連携の在り方を検討したい。	近隣の方及び地元の消防団分団へ災害時の協力依頼を行い、災害時への対応に備え、安心して共同生活が送れるようにする。	近隣の方及び地元の消防団分団へ災害時の協力依頼を行う。	6 か月
3	4	開所1年目で、運営推進会議の在り方や進め方が良くわからなかった。また、運営推進委員に委嘱された方もどのような形で参加すれば良いのかわからなかったと思われる。	他のグループホームで公表されている運営推進会議の会議録などを参考にしながら、グループホームの運営にあたって有意義なものとなるよう開催する。	入居者の生の声を聴いてもらうため入居者との交流の場を設けるとともに、他のグループホームの運営推進会議の会議内容を紹介し、運営推進会議の参考にしてもらい、会議に反映させる。	6 か月
4	33	重度化や終末期に向けた「重度化・看取り指針」を作成しているが、入居者や入居者の家族に周知徹底しておらず、また、職員間でも共有されていないため重度化や終末期への不安を抱いている。	重度化や終末期に向けた「重度化・看取り指針」を入居者や入居者の家族に周知し、また、職員間でも研修会を通じて共有し、重度化や終末期への不安を解消する。	重度化や終末期に向けた「重度化・看取り指針」を家族に配布し、また、グループホーム内にも掲示するとともに、職員研修会を開催し、情報の共有を図る。	6 か月
5					か月